



本に貼る「お名前シール」？

—蔵書票の世界—

「持ち物には名前を書きましよう！」
 そう言われて、鉛筆や消しゴムなどに、
 名前を書いた経験がある人は多いので
 はないでしょうか。

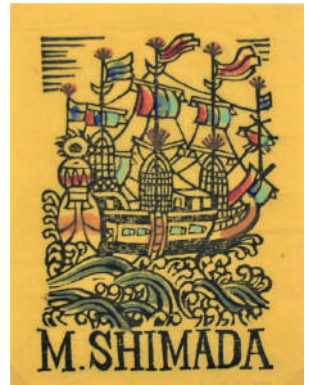
左や下の版画作品は、そんなふう
 持ち主を示すために作られた「蔵書票」
 です。蔵書票はその名のおり、本の持
 ち主を示すために使う名札のようなも
 のです。ラテン語で「誰々の蔵書から」
 を意味するエクスリブリスという名前
 で呼ばれることもあります。本の見返し
 (表紙の裏側部分)に糊やテープなどで
 貼り付けて使います。

蔵書票の発祥は15世紀中頃のヨーロ
 ッパであると考えられており、日本では
 特に20世紀から現代にかけて盛んに作
 られました。主に版画技法によって、さ
 まざまな芸術家が多様な蔵書票を制作
 しています。

蔵書票はその用途から、手のひらに
 乗るほど小さなサイズで制作されるこ
 とが一般的です。小さいながら、注文主



▲前川千帆《蔵書票》
日本書票協会所蔵



▲川上澄生《蔵書票》
日本書票協会所蔵

(本の所蔵者)の趣味や制作者の工夫
 が凝らされたその一点一点は、「紙の宝
 石」の異称にふさわしい作品に仕上がっ
 ています。

川上澄生美術館では、日本書票協会
 の協力のもと、同協会の所蔵品を中心
 に200点以上の蔵書票を紹介する展
 覧会を開催します。

小さな画面にぎゅっと魅力が詰まっ
 た蔵書票の世界を、ぜひこの機会にお
 楽しみください。

学芸員 相澤美貴

美術館からのお知らせ

川上澄生美術館 ☎(62)8272

●「書物を彩る蔵書票展」

とき 前期：開催中
 ～6月26日(日)

後期：6月29日(水)

～9月4日(日)

ところ 川上澄生美術館

2階展示室

入場料 一般 3000円

高校・大学生 2000円

小・中学生 1000円

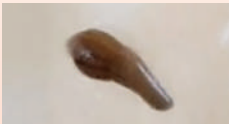
特別協力 日本書票協会

生息地拡大！

鹿沼市内でも被害が報告されています。

ヤマビルに注意しましょう！

林政課森林保全係 ☎(63)2187



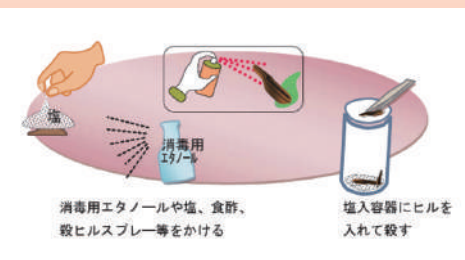
◀ヤマビルは、体長2.5～3.5cmで、落ち葉のたまった所など湿気の多い場所を好みます。毒はありませんが、人や動物の血を吸います。吸った時に「ヒルジン」という成分を出すので、吸われた後は、血が止まりにくくなります。

生息地 北西部の永野・粕尾地区から、栗野・加蘇・板荷・西大芦・清洲地区まで拡大しています。

活動時期 特に気温が25℃前後、湿度が70%位になる6月から9月頃が最も活発です。

予防 ヤマビルは、足元からもぐり込むので、ズボンのすそにテープを巻きつけてすき間をなくし、さらに忌避剤を塗布します。

駆除 ヤマビルは、そこに住み着いて増えないよう駆除しましょう(下イラスト)。



★吸血されたら

- ①ヤマビルは、無理に引っ張らず、塩や消毒用エタノールなどをかけて除去する。
 - ②傷口をつまんでヒルの唾液成分を絞り出す(治りが早い)。
 - ③水で洗ってから消毒する。
 - ④ばんそうこうや包帯で止血する。
- ※血が止まらない場合は、皮膚科の医師に相談しましょう。